

# 富山県高P連会報

第 123 号  
2020.9

編集発行  
富山県高等学校PTA連合会  
発行人 会長 堀井 鉄也  
富山市千歳町1-5-1  
富山県教育記念館41号  
TEL 076(432)2810  
FAX 076(432)1501



富山県高等学校PTA連合会 会長 堀井 鉄也

## ご挨拶

この度、令和2年6月から会長を拝命しました富山中部高等学校PTA会長の堀井鉄也です。本年度は当連合会においてコロナ禍の影響で総会が開催できず書面審議とさせて頂きました。全国の多くの学校・各種団体においても同様な対応がなされ定款の改定、新たな手法（ネット審議等）を用いるなど苦労されたこと伺っております。未だ自粛期間が続くことが予想されますが、皆様とともに子どもたちの更なる成長と教育環境の向上を目指して活動していきたいと考えておりますので、本連合会の運営が円滑に図られるよう引き続きのご支援とご指導をお願い致します。

さて例年であれば、これまでの活動報告を皆様にお伝えしたいところではあります。コロナ禍の影響であり活動できていない状況です。6月10日理事会においては書面総会の結果報告及びコロナ禍における各校での対応と今後の当連合会の活動方針について話し合いました。7月の北信越地区大会福井大会は中止、8月の全国高P連島根大会は4月初めに中止が決定し令和3年に延期、その

後の開催予定都道府県が一年ずつスライドし石川大会の令和4年開催が決定。富山県においては、10月に予定しておりました指導者研修会も未だコロナ収息の見通しが立たないことから会員の安全を第一に考え開催を中止。当日予定していた発表校については、その発表要旨を冊子にまとめ、各学校に配付することで今後のPTA活動推進に役立てることとさせて頂きました。また様々な行事が中止となり、みなさまの交流や学びの貴重な機会を逸する結果となり残念でなりません。また、令和3年7月には北信越地区高等学校PTA連合会研究大会富山大会が予定されていますが、コロナウイルスの状況を見極め、行政からのご指導を頂きながら様々な手法を模索した大会にしていきたいと考えております。皆様には様々なご協力をお願いすると思いますが、大会の成功に向けご理解とご協力をお願い致します。

2020年は高校生の「学校教育」にまつわる大きな変化の年であり、教育改革が物凄いスピードで進められています。「センター試験」に代わり「大学入学共

通テスト」が始まり、令和4年4月から新学習指導要領になり、「言語文化」「古典探究」「日本史探究」「公共」「理数探究」といったような新しい科目が増えます。そして令和4年4月から、成年年齢が18歳に引き下げられることは、社会全体から見れば教育改革よりも重要なことかも知れません。また「超スマート社会」とも言われる Society 5.0 が訪れ人工知能

(AI)・ビッグデータ・ICT等の先端技術が、あらゆる産業や社会生活に取り入れられ便利になると共に急激な変化に戸惑い不安の声も多いと思います。社会情勢の劇的な変化に対応するには教育環境の変化なしには考えられません。しかしその変化に明確な答えはありません。そして何が正解かわからない、これからの子どもたちは正解のない答えのない時代を生きていきます。子ども達だけに学びを求めるのではなく、私達、保護者も凝り固まった頭を柔軟にして新しい時代への挑戦を後押しできる情報を掴み、その都度最善の判断ができるように努めなければなりません。子どもたちが安心して高校生活を送れるように皆様と共に考え少しでも前に進んでいきたいと思っておりますので、今後ともご支援ご協力の程、どうぞよろしくお願い致します。

最後に全国高等学校PTA連合会の総会において、牧田和樹様が3年間の会長職を退任されました。多年に渡りアンケートシステム構築、全国大会改革、保護者向けの薬物乱用防止パンフレット作成など様々なご功績に敬意を表し感謝申し上げます。



## 令和2年度定期総会開催

今年度の定期総会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、書面審議となりました。その結果、全ての議案が可決され、新役員が次のとおり選出されました。

- 顧問 牧田和樹 深松 茂
- 会長 堀井鉄也 (富中)
- 副会長 小峰正文 (魚津) 小林大助 (富山) 菅野克志 (高岡) 開田哲弘 (砺波) 本江孝一 (富中)
- 会計監査 渡辺誠治 (入善) 吉田明博 (高南)
- P側理事 中原慎一 (桜井) 二川宗明 (滑川) 村上賢治 (富工) 猶明義仁 (富商) 三浦敏明 (富東) 正保哲也 (氷見) 山根 悟 (高工) 奥野康宏 (砺工) 本田 敏 (福野) 畑 彰 (石動)
- T側理事 小泉量裕 (魚津) 柳原英志 (滑川) 中崎健志 (富山) 東瀬義人 (富商) 君波敦子 (いすみ) 串田至人 (高岡) 篠原俊二郎 (高工) 大崎武治 (氷見) 今堀俊彦 (砺波) 番留幸雄 (福野) 政二里佳 (しらとり支援)
- 幹事 河原千里 (桜井) 亀田三三夫 (おらひ野) 高木直樹 (中農) 井川あゆ美 (いすみ) 大塚賢志 (富東) 布目貴久 (小杉) 山本昭弘 (高商) 広瀬正宜 (志賀野) 向 茂美 (福光) 盛合浩司 (尖部蘭雲) 大村和彦 (いかわ総合支援)

# 共学共育

## 魚津工業高校PTA

「子ども達が生き生きと  
楽しく過ごせるために」

本校のPTAは、会長以下それぞれが研修部会、広報部会、生徒生活指導部会のいずれかに所属して活動しています。

研修部会は、保護者研修会と全体研修会を企画しています。昨年の保護者研修会は、本校から多数就職している「アイシン・メタルティック(株)」の工場内を見学し、会社概要の説明の中で人材育成に力を入れていることを聞いて、子どもの就職活動の参考になりました。

全体研修会は、社会人としての人材育成を目的とした研修会を企画しています。昨年は、小学校のPTA会長を5年間務め、学校や企業で500回以上も講演をされている「レモンさん」こと山本シュウ氏に「レモンさんのビタミントーク」と題したお話をいただきました。

「保護者主体で運営する講演にしたい」というレモンさんの熱い気持ちのおかげで、役員が一丸となって照明や音響など



全体研修会

にアシスタントとして携わり、有意義な講演になりました。

広報部会は、各学期末に「PTAだより」を発行し、各部会の活動報告や学校行事を中心に、保護者からのアンケートなどの意見も載せて、身近なものにしていきます。

今年度は各校等の影響で発行回数を減らすことになりましたが、その分も内容の濃いものにしたと思っています。



「レモンさん」を囲んで

生徒生活指導部会は、主として祭礼巡視やさわやか運動に関わる活動をしています。「魚津神社祭礼」や、「じんじん祭り」を巡視し、トラブルなく楽しめるように声かけをしたりしました。さわやか運動では、駅や通学路、生徒玄関前での挨拶を行いました。朝から元気よく挨拶をする生徒の声に、私たちが元気をもらいました。

今年度は3年に1度の文化祭である「魚工展」が開催されます。新年度のスタートから、新型コロナウイルスの影響で、学校行事やPTA活動が変更になったり、中止になったりして、いつも通りの活動ができませんが、どうすれば子供たちが学校生活を楽しみ過ごせるかを考えて「魚工展」を華やかに盛り上げる企画を考えたいと思っています。

魚津工業高校PTA会長

左近 靖徳

## 富山高等支援学校PTA

「本校PTA活動の学びとつながり」

本校は軽度知的障害のある生徒の就労支援を目的とする高等部のみの特別支援学校です。平成25年4月に北陸初の高等特別支援学校として開校し、これまで5回卒業生を社会に送り出しました。生産・サービス科で学習し、全員が一般企業等への就職を目指しています。

本校のPTA組織は、会長、副会長、顧問、会計監査、各専門委員会(総務・進路・広報)からなっています。保護者は在籍期間中に1年以上はPTA役員・委員を担当することになっています。参加しやすいよう学校行事に合わせてPTA事業を行うようにし、全保護者が主体的にPTA活動に携われるように工夫しています。

各専門委員会の主な事業として、進路委員会では進路学習会と企業見学会、総務委員会では座談会と親子体験活動、広報委員会ではPTAだより「虹」を発行しています。進路学習会はPTA発足時より開催し、ニーズに対応した内容を取り上げるようにしています。

昨年度は、1学年の保護者を対象に本校進路指導主事より「本校の進路指導について」、2学年の保護者を対象に富山



進路学習会

労働局、富山障害者就業・生活支援センター、事業所より「障害者雇用について」、3学年の保護者を対象に本校卒業生、その保護者の方より「就労までの道のり・卒業後の就労生活について」、それぞれから話をうかがいました。就職に必要な技能や態度、制度について知識を深めることができるよう進路学習会を行っています。

企業見学会では、本校の卒業生が働いている障害者雇用実施事業所を毎年見学しています。卒業生の働く姿を実際に見て、話を聞く貴重な機会になっています。また、開校時より毎年2〜3回の座談会を開催し、会員同士で学校生活や家庭生活などの心配事等を自由に意見交換できる機会を設けています。



企業見学会

親子体験活動では、ボウリング大会を開催し毎年たくさんの参加があります。ボウリングをとおして親子や会員同士の会話が弾み、良い交流の機会になっています。これらPTA事業の報告及び感想は、PTAだより「虹」に掲載しています。

今後も我々PTAは、就職に向けて努力する子供たちを応援する仲間として、情報交換や交流を行い、協力し合っていきます。

富山高等支援学校PTA会長

神田 諭志

### 高岡支援学校PTA

#### 「PTAの活動を通して」

本校は、昭和40年に知的障害を中心とした児童生徒のために開校されました。

小学部・中学部・高等部があり、会長（高等部）1名、副会長（各学部）2名、書記1名、会計1名、監事2名の執行部計11名と文化活動・総務・学部・広報・進路研修の委員長を中心にPTA活動をしています。運動会・納涼祭・学習発表会は、執行部・各種委員長を中心に各委員会の委員も協力して活動しています。学部委員会は、各学部で保護者同士の交流・親睦を深める茶話会や外部講師をお迎えしての講演・講習会を開催しています。

進路研修委員会は、全校保護者を対象に年1回視察会を開催していま



口腔ケアについての講演会

す。福祉施設等を訪問し、卒業後の進路の参考にした見聞を広げたり情報交換の場になっています。

文化活動委員会では、7月に陶芸教室、11月にボウリング大会を開催し親子で参加できる行事となっています。親子・兄弟姉妹も参加できるので、年々参加人数が増えています。小学部・中学部・高等部がありますので、他学部の保護者と情報交換もでき、卒業後の進路の参考にできる環境です。

今年度は、新型コロナウイルスのためほとんどのPTA活動を自粛することとなりましたが、コロナ禍が収まった際にはPTA活動を再開し、会員の皆様の交流の場となるようにしていきたいと思えます。

高岡支援学校PTA会長

湖本 陸世



ボウリング大会

### 砺波高校PTA

#### 「互いに響きあうPTA活動」

本校は、今年度創立111周年を迎えた歴史と伝統のある学校です。

まず例年のPTA活動を紹介します。5月に行われるPTA総会は、毎年8割の保護者が参加し、子供たちの学校生活に大変高い関心を寄せていることがわかります。また、6

月には、金沢大学、名古屋大学を隔年で訪問しています。本校の大学視察研修の特徴は、大学のスタッフによる説明や施設見学だけでなく、本校OBの学生を招き、直接懇談する機会を設けていることです。金沢大学には100名、名古屋大学には40名程度の参加があります。7月に発行されるPTA通信には「親の奮闘記」と題した特集を組み、卒業生の保護者から、子供に伴走して乗り越えた受験について寄稿していただいています。

9月には、砺高祭の一環として行われる合唱コンクールに合唱部、保護者、教職員からなる特設合唱団を結成し、



保護者、教職員らによる合唱(令和元年度)

市の文化会館のステージで歌声を響かせます。合唱コンクールは、多くの保護者や祖父母が訪れる人気の行事で、生徒と感動を分かち合える大切な行事となっています。10月には、PTA講演会や学年別研修会を行っています。

さて、今年度は新型コロナウイルスの影響で、学校行事、PTA行事とも異例の対応となっています。

5月のPTA総会は、通常開催ができなかつたため、子供たちを通して総会資料を配布し、日々学習に活用しているオンラインツールを用いて議決を行いました。このオンラインツールは、休校中に担任との面談や、健康観察、各教科の課題の配布や提出などで活用していたものです。保護者が実際にオンライン議決という体験を行ったことで、学習に活用しているツールはもとより、遠隔授業での活用の様子までも窺い知ることができました。また、休校中の先生方の対応についての理解も深まり、各家庭でも学習環境を整える等の支援について考えるきっかけになりました。10月には、専門家を招き、ICT利活用学習について保護者の理解がさらに深まる講演会を行います。今後とも、コロナ禍のような状況にあっても、先生方と保護者が連携して、子供たちの成長を応援できるように努めていきたいと思えます。

砺波高校PTA会長

開田 哲弘

### 北信越地区高等学校PTA連合会臨時役員会

8月7日、北信越地区高等学校PTA連合会臨時役員会が、長野市の「ホテル信濃路」で開催されました。例年6月に開催される役員会は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、書面会議となりましたが、高P連会長が交代した県が多いこと、令和3年度以降の行事等について確認する必要があることから、改めて臨時に開催されたものです。

役員会では、北信越各県から11名が参加し、書面会議の結果を確認するとともに、令和3年度北信越地区高P連研究大会富山大会や令和4年度石川大会等について協議しました。令和3年度富山大会については、新型コロナウイルス感染症の収束状況が不明なことから、実施規模を縮小する必要があるのではないか、教育懇談会の実施は難しいのではないかなど意見があり、今後富山県高P連の協議・提案をもとに継続的に協議していくこととなりました。

また、令和3年度富山大会から、これまでの4分科会に分かれての発表を廃止し、各県から1校ずつ（計5校）が全体会の会場で壇上発表を行い、他の発表については、誌上発表とすることも再確認されました。令和4年度石川大会については、当該年度8月に全国高P連大会石川大会の開催も予定されており、二つの大会を別々に実施することは困難

であることから、北信越大会を兼ねるという方式をとることが了承されました。ただし、兼ねるといふ具体的な方について、石川県高P連からの提案をもとに協議することとなりました。

その他に、全国高P連からの地区活動助成費についても報告があり、北信越地区の意見を集約しました。次回の北信越地区高等学校PTA連合会役員会は、10月16日、富山市で開催予定です。

令和2年度北信越地区高等学校PTA連合会役員は次の方々です。

- |      |            |
|------|------------|
| 会長   | 齋藤 力       |
| 副会長  | 堀井 鉄也      |
| 事務局長 | 直正 修一      |
| 役員   | 中田 靖治      |
|      | 石川県高P連会長   |
|      | 野本 博之      |
|      | 新潟県高P連会長   |
|      | 西脇 睦博      |
|      | 長野県高P連会長   |
|      | 下根 浩明      |
|      | 石川県高P連事務局長 |
|      | 中村 健郎      |
|      | 新潟県高P連事務局長 |
|      | 本郷 幸博      |
|      | 長野県高P連事務局長 |
|      | 神田 聡       |
|      | 富山県高P連事務局長 |

### 今後の高P連関連行事について

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、今後の行事については次のように計画しております。

- ・ 9月24日(木) 第3回企画委員会・第2回理事会
- ・ 10月3日(土) 全国高P連会長・事務局長連絡会

【12月5日に延期】

- ・ 10月8日(木) 第2回幹事会【中止】
- ・ 10月13日(火) 第2回教育向上委員会【延期】
- ・ 10月16日(金) 北信越地区高P連役員会
- ・ 10月20日(火)～23日(金) (中心期間)

秋のさわやか運動

- ・ 「自校敷地内およびその周辺での取組」
- ・ 10月27日(火) 県高P大会・指導者研修会【中止】
- ・ 11月5日(木) 教育関係予算措置に関する教育長陳情
- ・ 12月10日(木) 第4回企画委員会
- ・ 1月中旬 教育関係予算知事要望
- ・ 2月6日(土) 全国高P連会長・事務局長連絡会
- ・ 2月16日(火) 第5回企画委員会・第3回理事会



本年度全国高P連大会会長表彰、北信越地区高P連表彰が次の皆さま、団体に決定し、表彰されました。

- ▼全国高P連会長表彰
- 団体 富山商業高校PTA
- 新湊高校PTA
- 役員 深松 茂(前高P連会長)
- 個人 井上 武(前高P連理事)

- ▼北信越地区高P連表彰
- 深松 茂(前高P連会長)
- 榎田隆一郎(前高P連副会長)
- 才高 人思(前高P連副会長)
- 上埜 慎也(前高P連副会長)
- 青木 仁(前高P連会計監査)

### 編集後記

ここに、会報第123号を発行する運びとなりました。寄稿していただいたPTA会長各位に厚く御礼を申し上げます。さて、今年度はコロナ禍の影響で、高P連関連事業の多くが中止を余儀なくされました。特に北信越地区高P連大会、全国高P連大会が中止となり、交流や発表の機会が失われたことは、残念でなりません。「禍を転じて福となす」という言葉がありますが、この経験を活かして、プラスに役立てる工夫を考える必要性を感じています。今後も皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

(事務局長 神田 聡)